

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

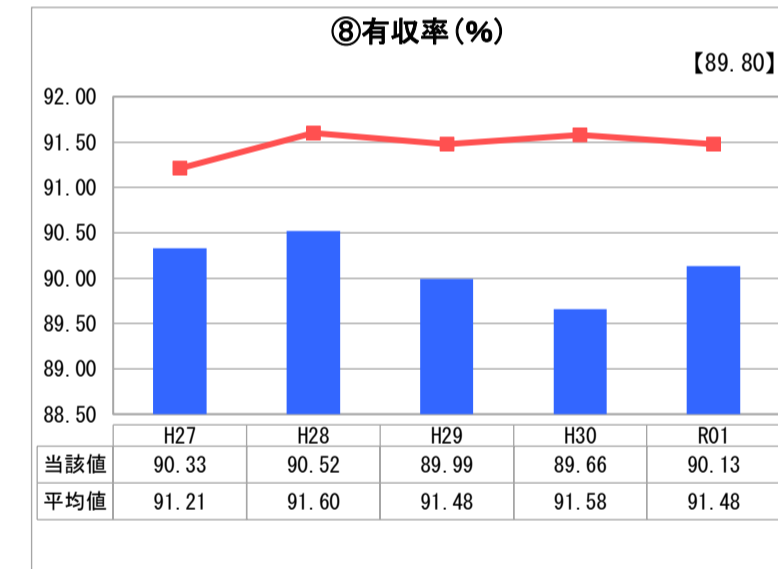
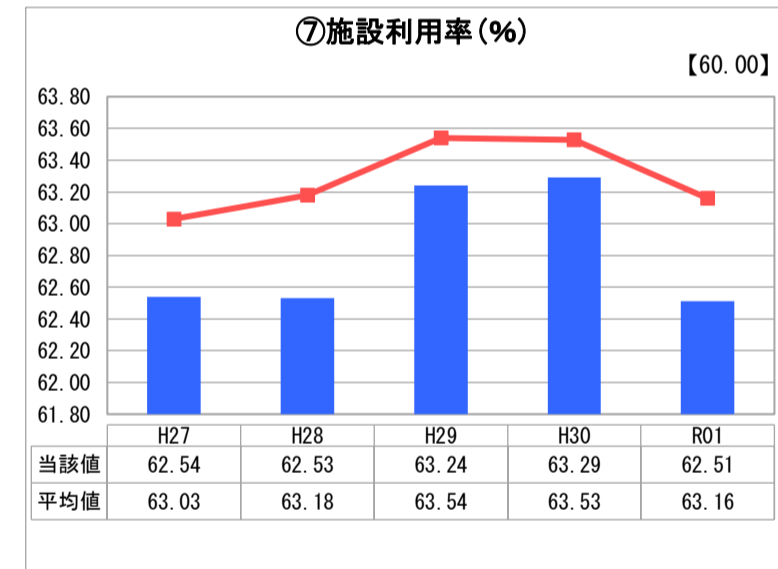
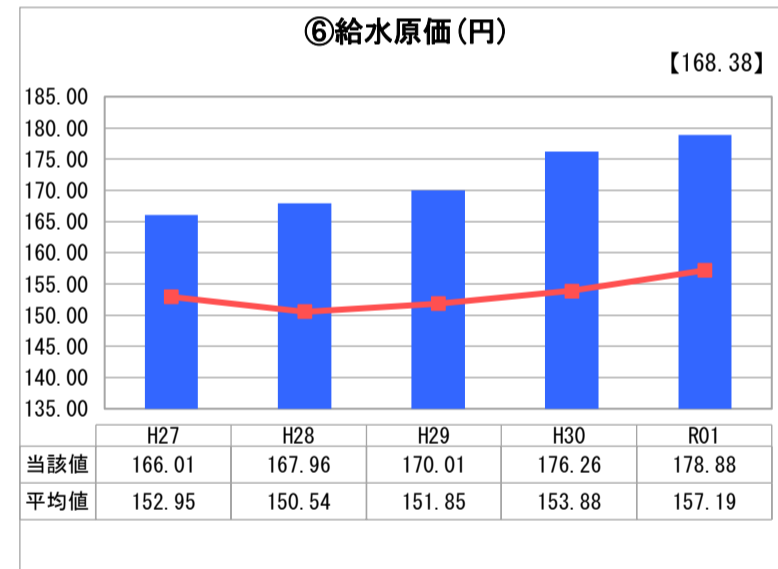
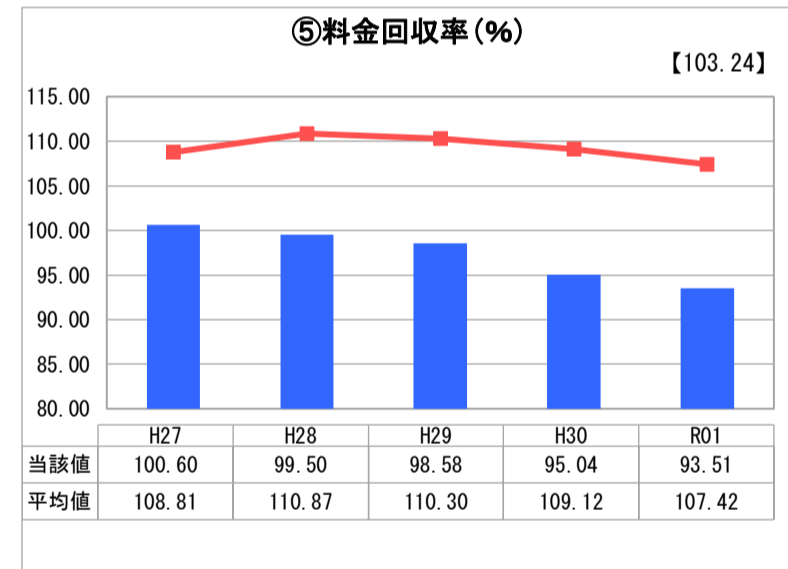
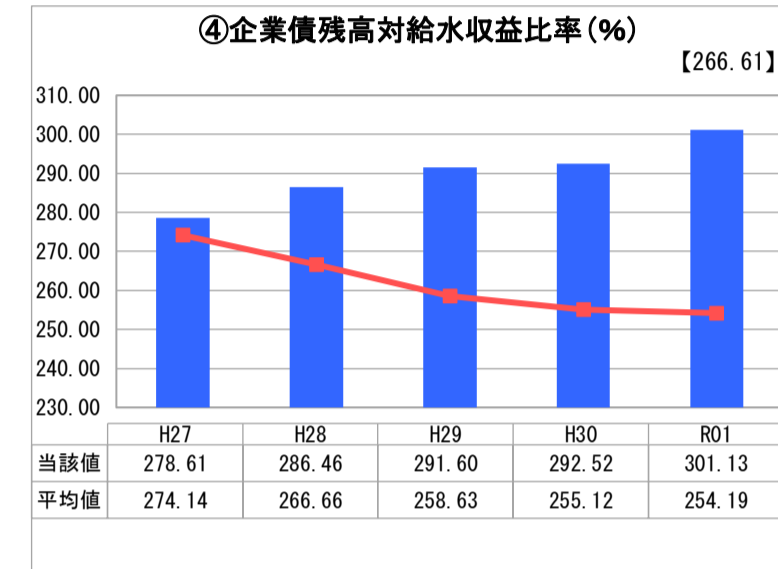
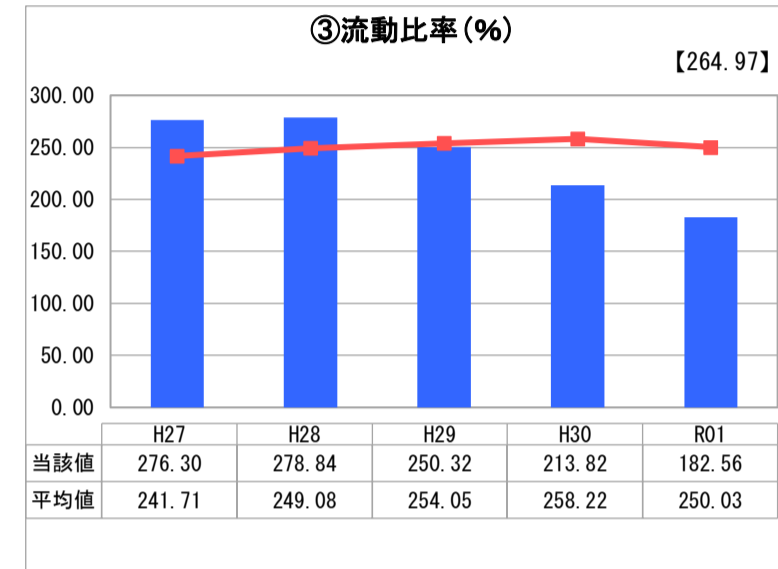
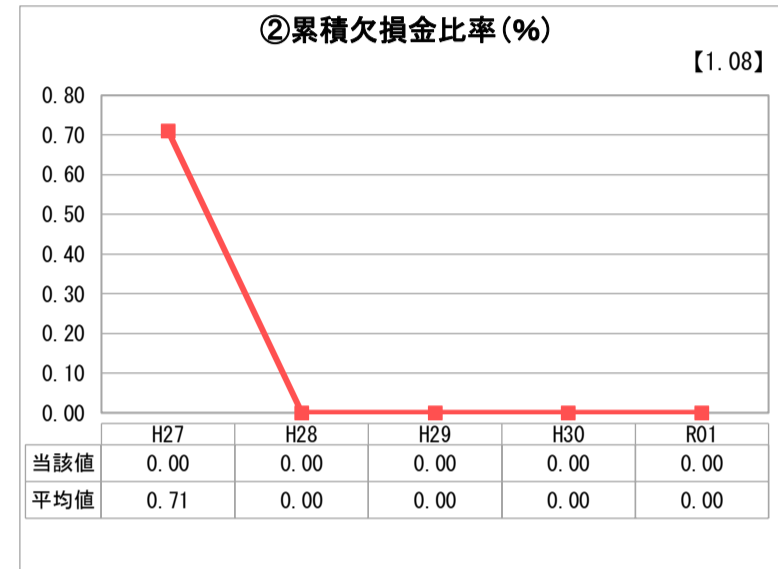
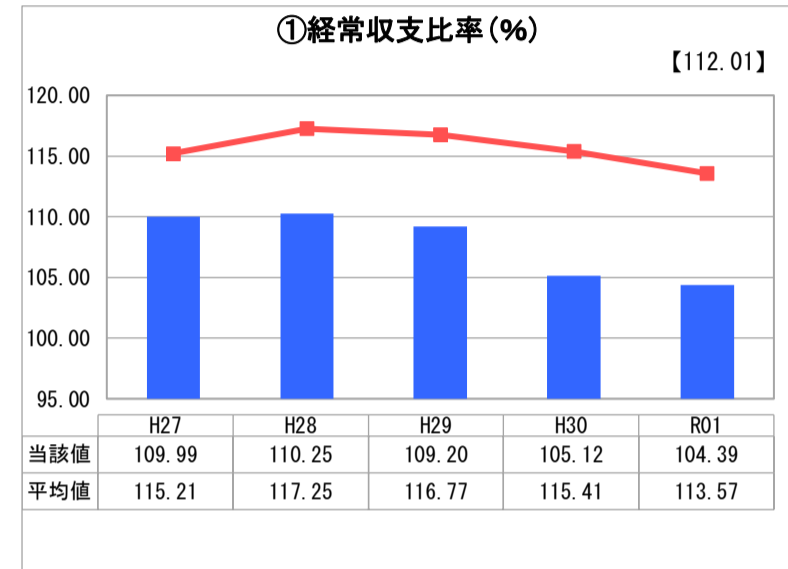
埼玉県 川口市

| 業務名       | 業種名         | 事業名    | 類似団体区分                         | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------------------------------|--------|
| 法適用       | 水道事業        | 末端給水事業 | A1                             | 自治体職員  |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円) |        |
| -         | 60.56       | 100.00 | 2,266                          |        |

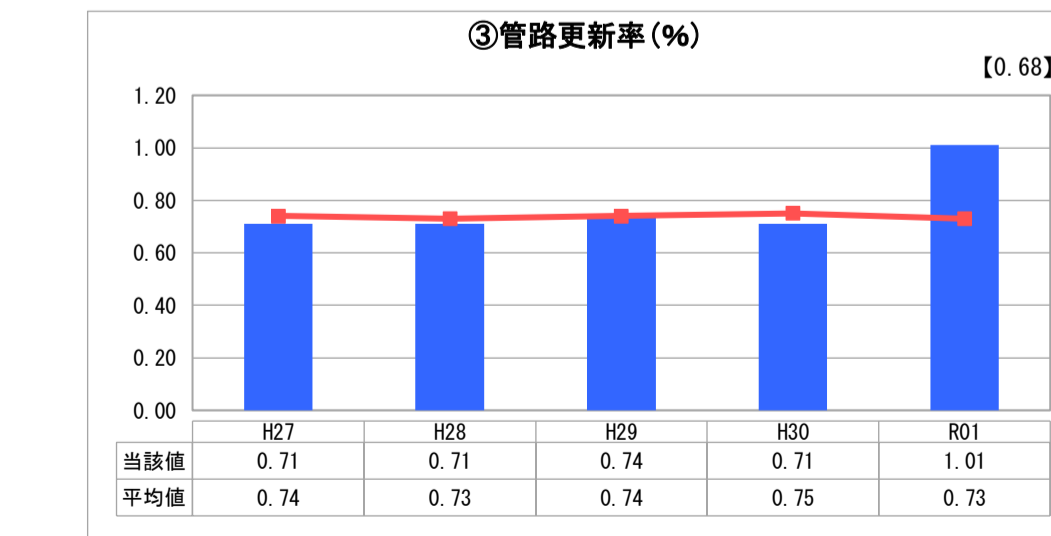
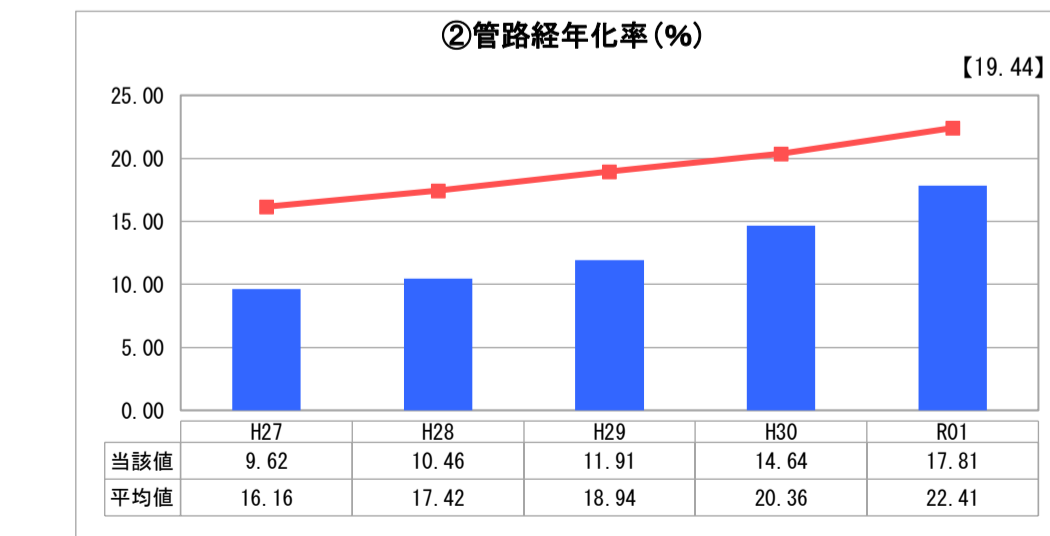
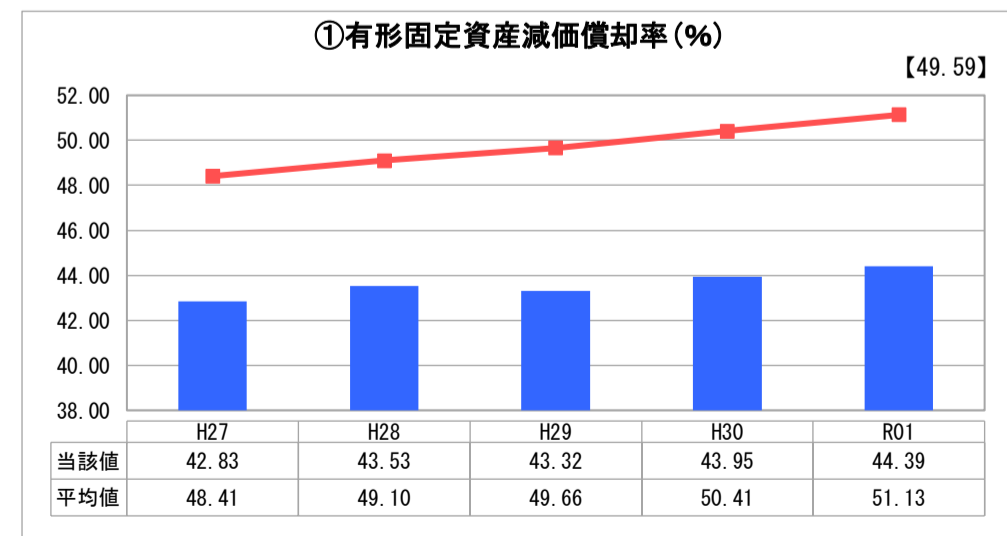
| 人口(人)     | 面積(km <sup>2</sup> )     | 人口密度(人/km <sup>2</sup> )   |
|-----------|--------------------------|----------------------------|
| 607,105   | 61.95                    | 9,799.92                   |
| 現在給水人口(人) | 給水区域面積(km <sup>2</sup> ) | 給水人口密度(人/km <sup>2</sup> ) |
| 608,385   | 61.95                    | 9,820.58                   |

| グラフ凡例 |              |
|-------|--------------|
| ■     | 当該団体値(当該値)   |
| —     | 類似団体平均値(平均値) |
| 【     | 令和元年度全国平均    |

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、100%を上回っているものの、下降傾向にあります。これは営業収益がほぼ横ばいで推移しているものの、営業費用の増加が要因と考えられます。更なる経営健全化を目指し営業収益の増加を図る必要があります。

② 累積欠損金比率については、累積欠損金を生じていません。

③ 流動比率は、期間中100%を上回っていますが、主に現金などの流動資産の減少により下降傾向にあります。計画的な現金の留保や企業債の借入を行う必要があります。

④ 企業債残高対給水収益比率は、期間中上昇傾向にあり、全国・類似団体よりも高い水準にあります。これは給水収益が微減傾向であるものの建設改良等に充てるための企業債が増加傾向にあるためであり、効率的な更新計画による企業債の借入れが必要です。

⑤ 料金回収率は、期間中の有収水量が減少傾向であることや、経常費用が増加傾向であったことなどから平成28年度以降は100%を下回り下降傾向にあります。料金水準の適正化について、料金改定を踏まえた検討が必要です。

⑥ 給水原価については、期間中増加傾向にあり、全国・類似団体よりも高い水準にあります。これは、主に経常費用の増加が要因と考えられます。更なる投資の効率化や維持管理費の削減を検討していく必要があります。

⑦ 施設利用率は、有収水量が期間中の他年度に比べ減少したことや、昨年度に比べ事業用水量が減少したことなどにより、下降しており類似団体よりも低い水準にあります。今後は給水人口の増減等を考慮した適正な施設規模の検討も必要です。

⑧ 有収率は、昨年度に比べ0.47ポイント増加したものの、類似団体よりも低い水準にあります。漏水対策等の強化により、無収・無効水量の減少に努めます。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、増加傾向にありますが全国・類似団体よりも低い水準にあります。減価償却累計額及び償却対象資産はともに増加しており今後更新が必要な施設が増加しています。効率的な投資計画の再検討が必要です。

② 管路経年化率は、年々上昇していますが、全国・類似団体よりも低い水準にあります。本市の管路の設置は昭和50年代以降に集中し、法定耐用年数40年を超えた管路が少ないことが要因と考えられます。

③ 管路更新率は、上昇傾向にあり、全国・類似団体よりも高い水準にあります。管路更新にあたっては配水管を中心に経過年数や管種、漏水発生などの状況等を勘案し計画的に実施しています。

### 全体総括

平成31年3月にアクアプラン川口21～第3次川口市水道ビジョンとともに経営戦略を新たに策定し、新たな計画の下での事業が始まりました。アクアプラン及び経営戦略に基づいた投資計画によれば、老朽化施設の更新等に要する費用は年々増加する見込みであり、また、水需要の減少等により給水収益は伸びず、今後も厳しい環境は続くと考えられます。水道事業運営にあたっては、経営比較分析等を用いた事業計画の進捗管理を行い、また、適宜見直すことで経営基盤の強化を図り、お客様に安全・安心な水道をお届けします。

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

埼玉県川口市 医療センター

| 法適用区分   | 業種名・事業名 | 病院区分    | 類似区分      | 管理者の情報          |
|---------|---------|---------|-----------|-----------------|
| 条例全部    | 病院事業    | 一般病院    | 500床以上    | 自治体職員 学術・研究機関出身 |
| 経営形態    | 診療科数    | DPC対象病院 | 特殊診療機能 ※1 | 指定病院の状況 ※2      |
| 直営      | 29      | 対象      | ド透I未ガ     | 救臨が災地           |
| 人口（人）   | 建物面積（㎡） | 不採算地区病院 | 看護配置      |                 |
| 607,105 | 36,984  | 非該当     | 7：1       |                 |

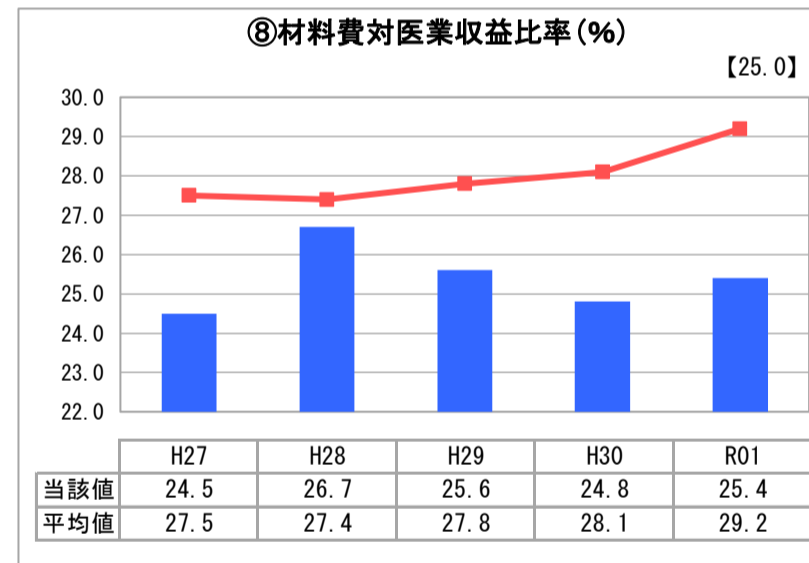
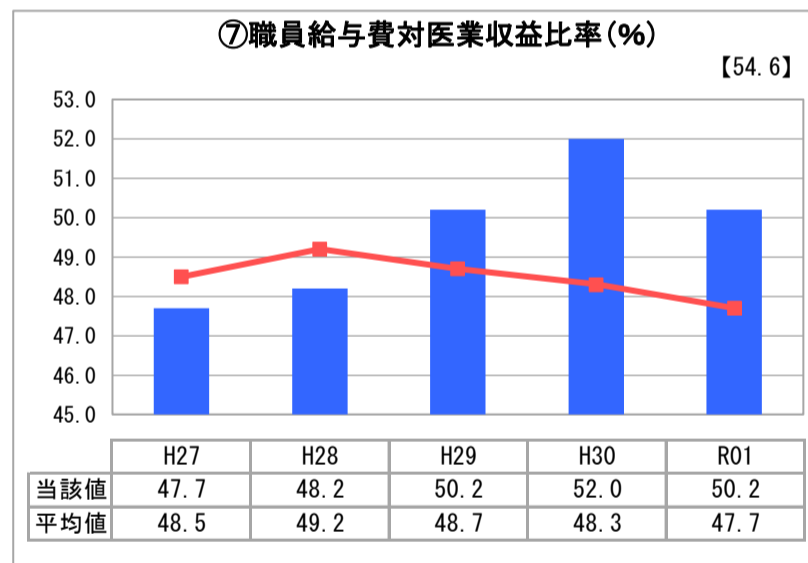
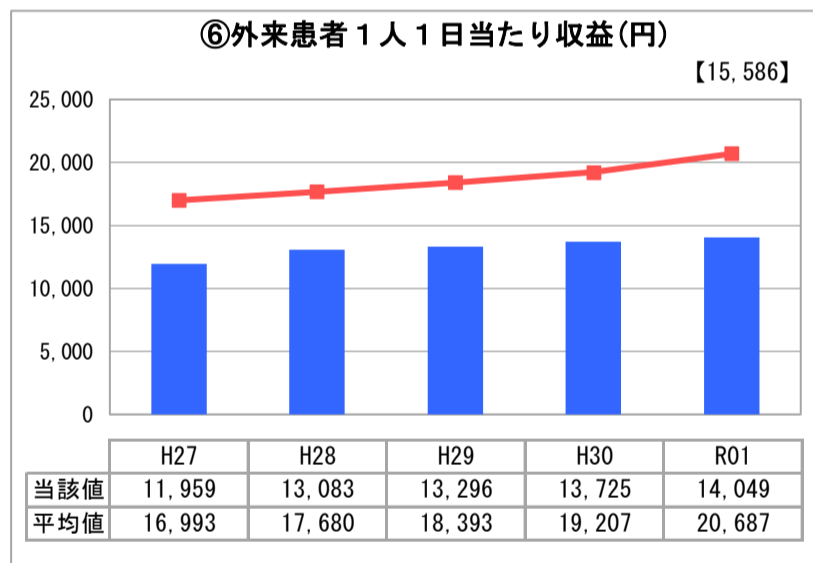
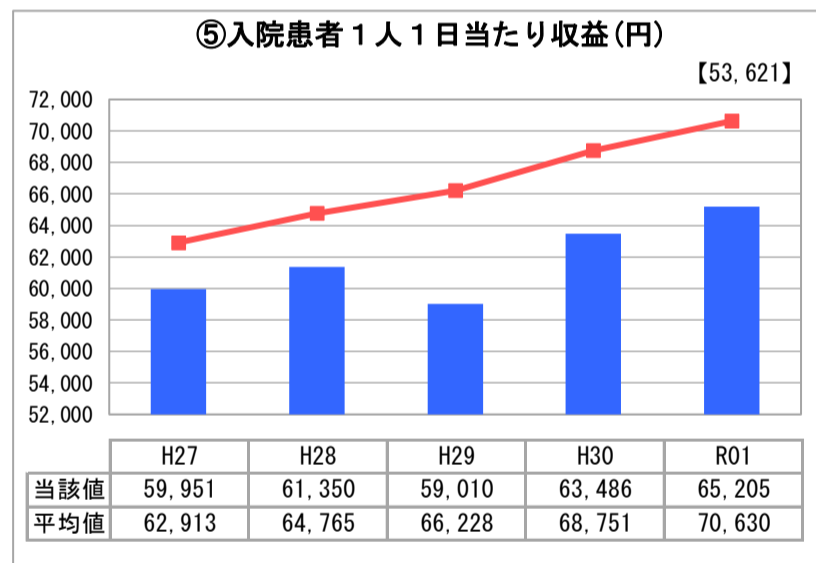
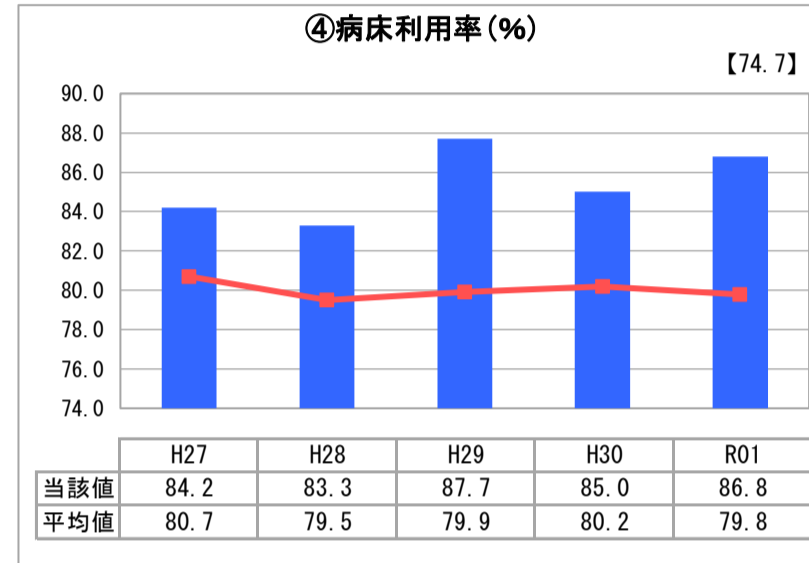
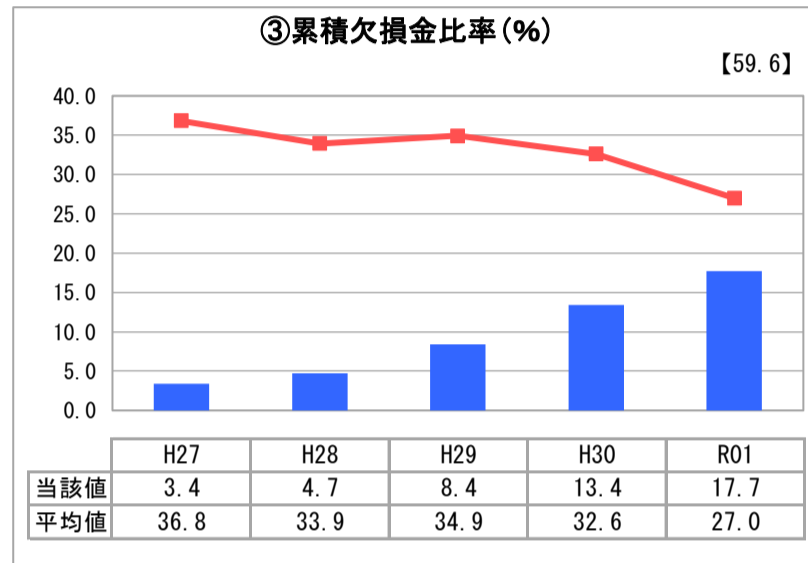
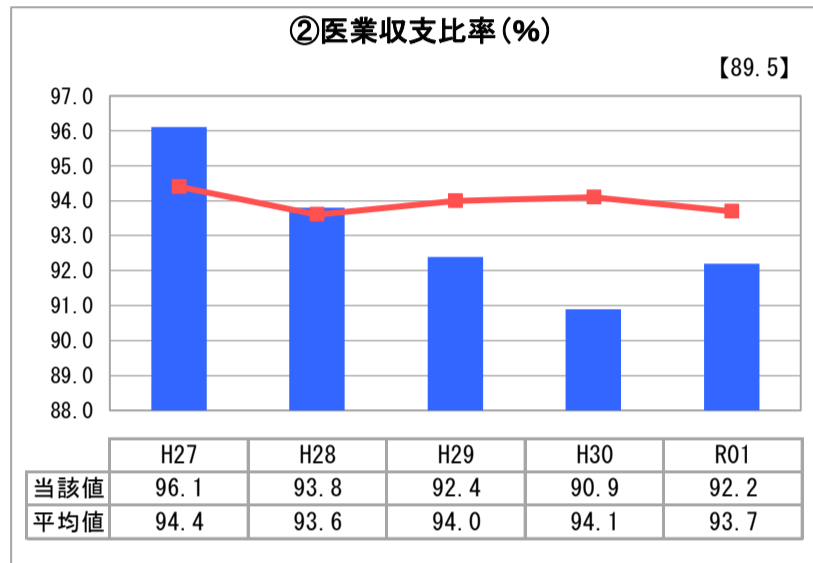
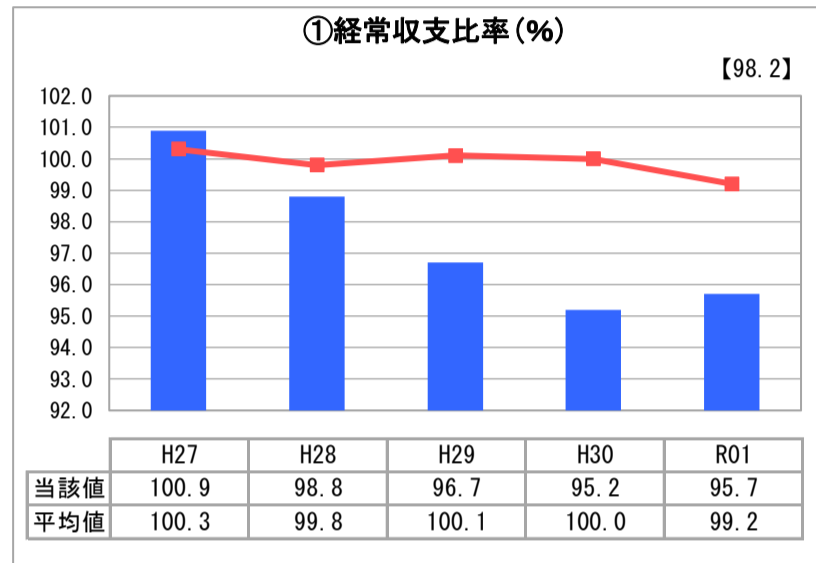
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

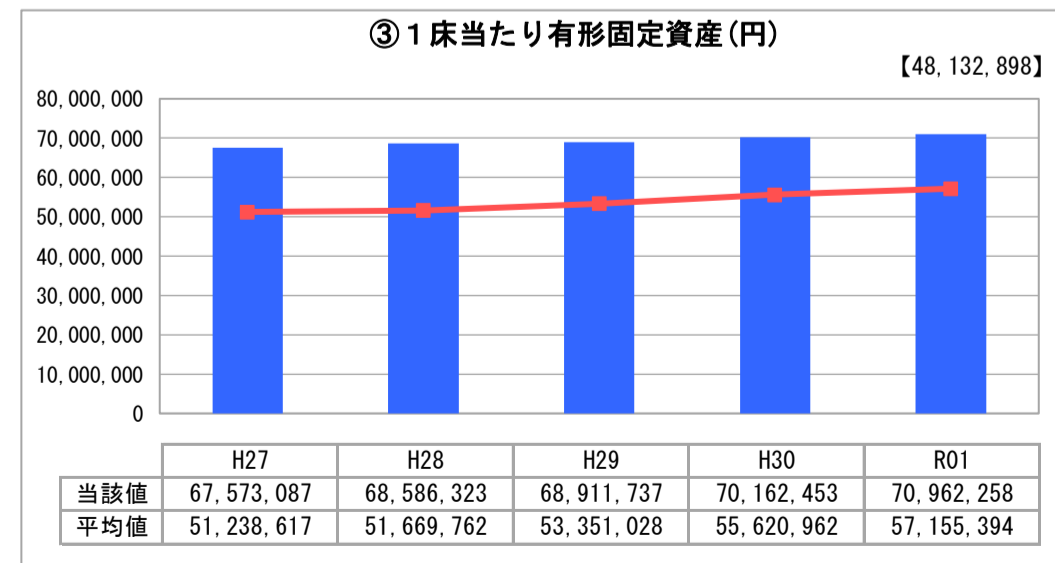
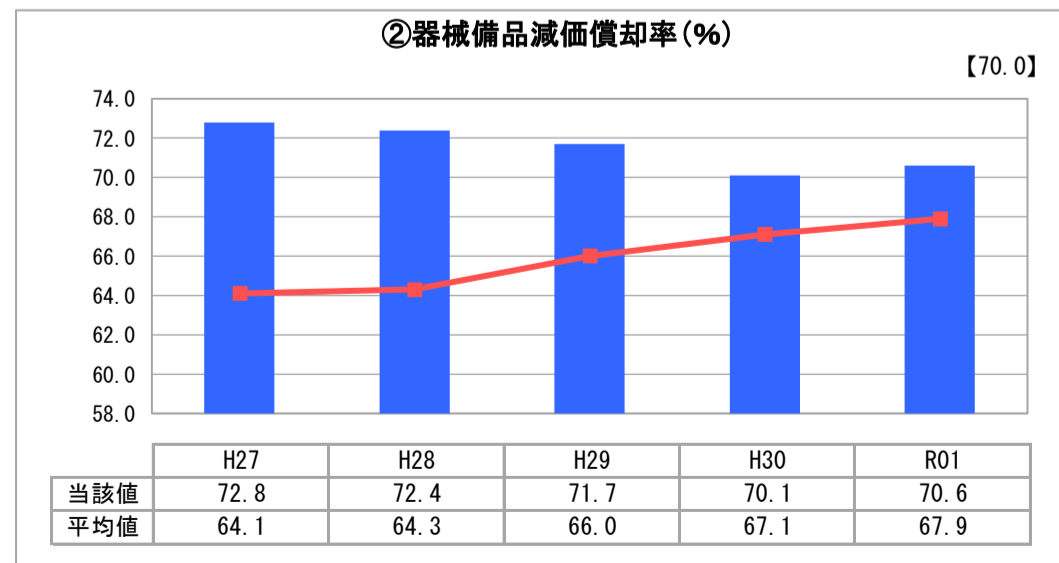
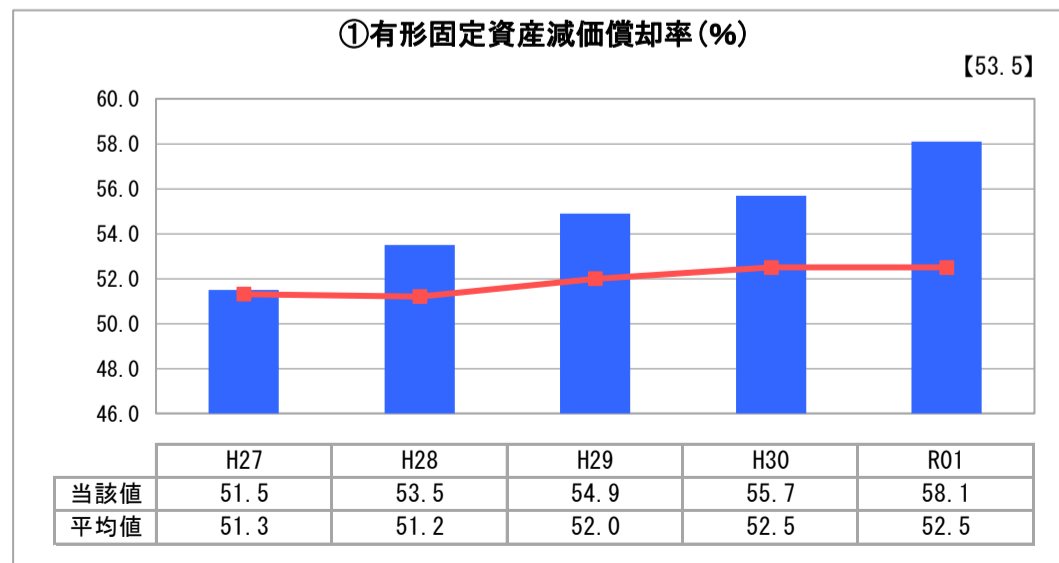
| 許可病床（一般） | 許可病床（療養）  | 許可病床（結核）    |
|----------|-----------|-------------|
| 539      | -         | -           |
| 許可病床（精神） | 許可病床（感染症） | 許可病床（合計）    |
| -        | -         | 539         |
| 稼働病床（一般） | 稼働病床（療養）  | 稼働病床（一般+療養） |
| 539      | -         | 539         |

| グラフ凡例 |              |
|-------|--------------|
| ■     | 当該病院値（当該値）   |
| —     | 類似病院平均値（平均値） |
| 【】    | 令和元年度全国平均    |

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

| 再編・ネットワーク化 | 地方独立行政法人化 | 指定管理者制度導入 |
|------------|-----------|-----------|
| -          | -         | -         |
| 年度         | 年度        | 年度        |

## I 地域において担っている役割

【施設認定】日本医療機能評価機構認定施設、地域がん診療連携拠点病院、救命救急センター（三次救急指定病院）、災害拠点病院（基幹災害医療センター）、臨床研修指定病院（厚生労働省）、地域周産期母子医療センター、地域医療支援病院、DPC対象病院（標準病院群）、エイズ診療協力医療機関、結核指定医療機関、被爆者一般疾病医療機関、埼玉特別機動援助隊（埼玉SMART）登録、災害派遣医療チーム（埼玉DMAT）指定病院  
 【特殊診療科】救命救急センター、周産期センター、画像診断センター、総合健診センター

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

入院患者の増加、入院期間の適正化等に努めた結果、④「病床利用率」及び⑤「入院患者1人1日当たり収益」が増加していることから、①「経常収支比率」及び②「医業収支比率」が改善しています。  
 ⑥「外来患者1人1日当たり収益」は、外来患者への院外処方を実施しているため、院内処方を実施している病院を含めた類似病院平均値と比較すると下回る傾向にあります。  
 ⑦「職員給与費対医業収益比率」は、診療体制の強化や診療体制維持に伴う人件費を要したため、類似病院を上回っています。  
 ⑧「材料費対医業収益比率」は、高額薬剤の使用及び手術件数の増加に伴い増加しています。

### 2. 老朽化の状況について

①「有形固定資産減価償却率」及び②「器械備品減価償却率」は、保有する償却対象資産の使用年数が進んでいるため、減価償却率が増加しています。建物は、計画的に改修していく必要があります。また、器械備品は、稼働率に応じた配置の見直しや、償却期間が終了した備品の計画的な更新を進めていく必要があります。  
 ③「1床当たり有形固定資産」は、立体駐車場、看護師住宅及び2つの附属診療所を保有していることなどから、類似病院平均値を上回る傾向にあります。

## 全体総括

「経常収支比率」及び「医業収支比率」の改善に向け、救急応需強化に加え、地域連携の強化による新規入院患者の獲得、手術件数の増加、入院患者への早期退院支援によるDPC入院期間の適正化等に取り組むことで入院収益の確保につながり、令和元年度の比率は改善しています。  
 引き続き、適正な診療体制に取り組むとともに、保険収載品以外の診療材料の使用を抑制するなど材料費を主とした経費の縮減にもいっそう努めていきます。また、建物、設備、機器の整備にかかる投資の適正化と平準化を積極的に推進していきます。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

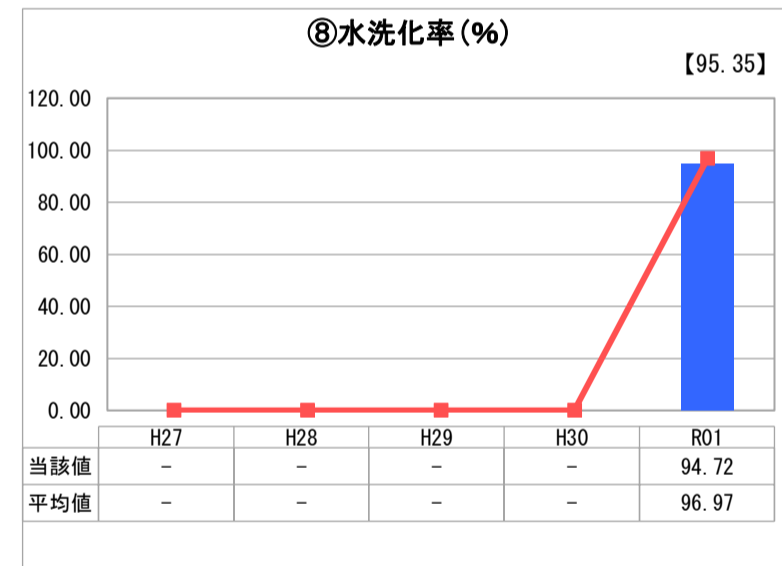
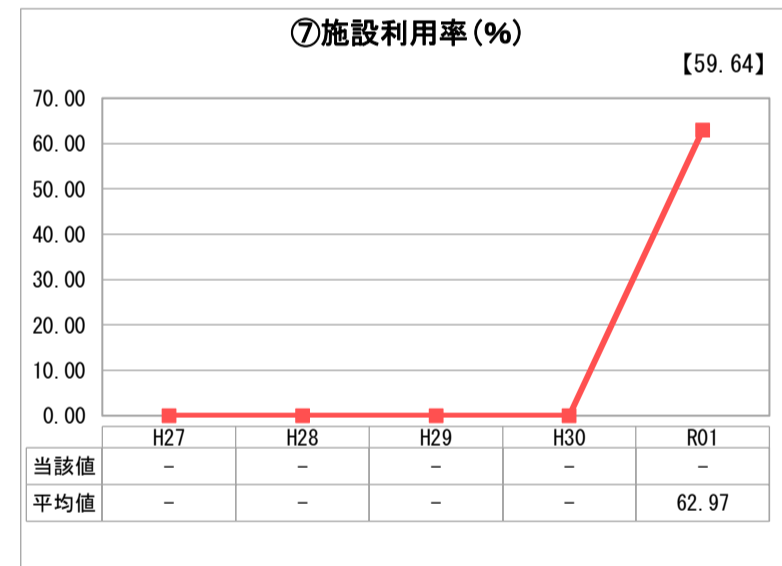
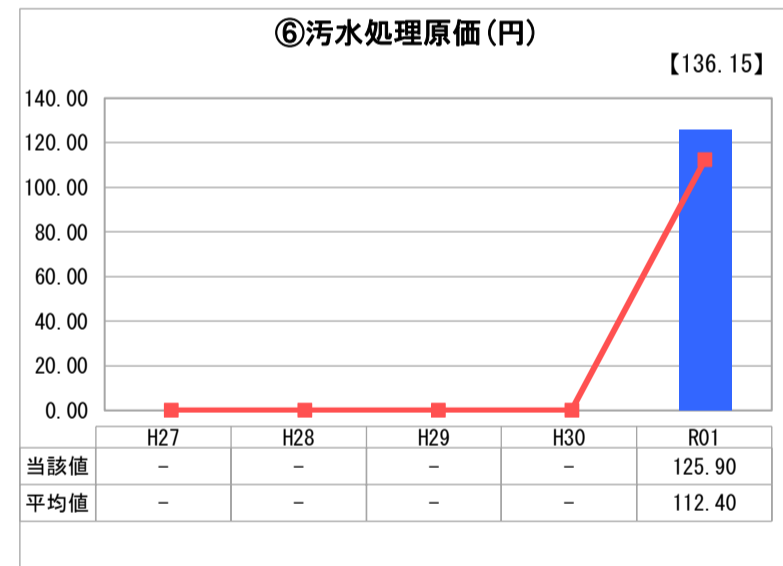
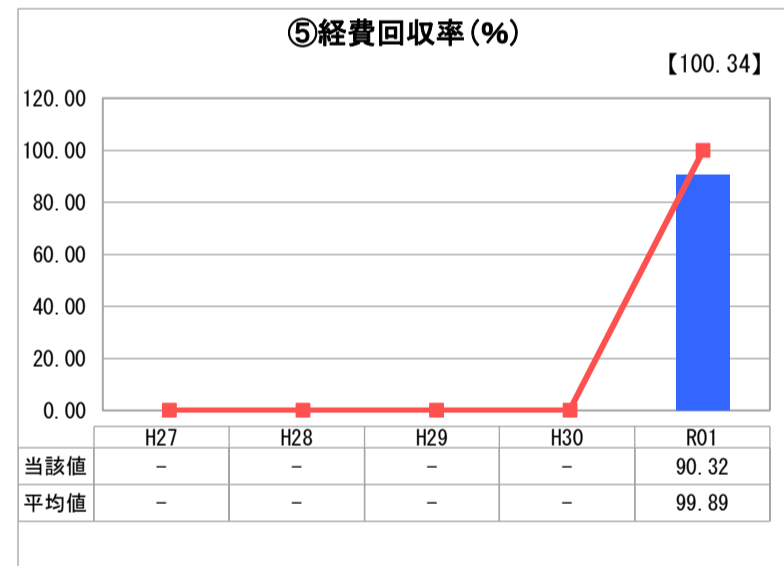
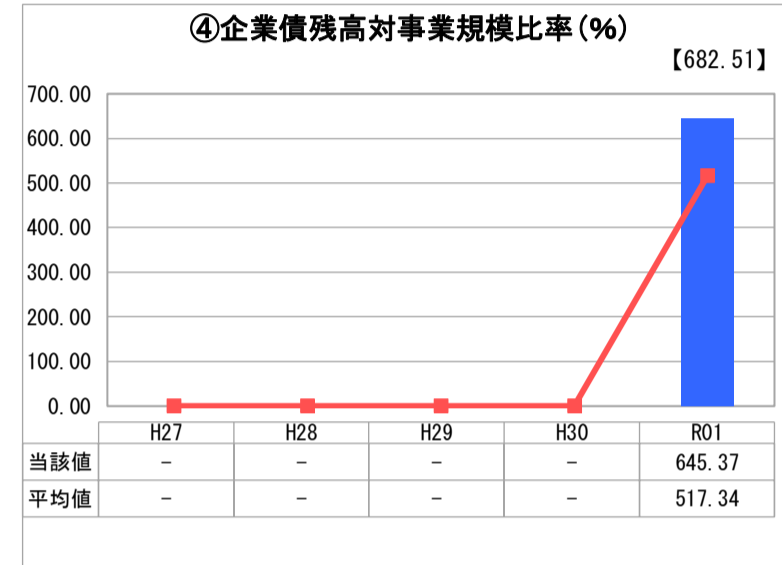
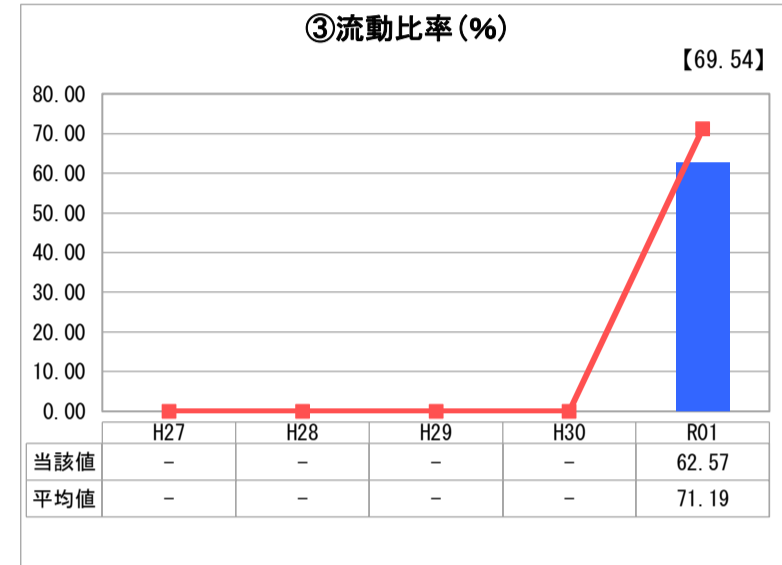
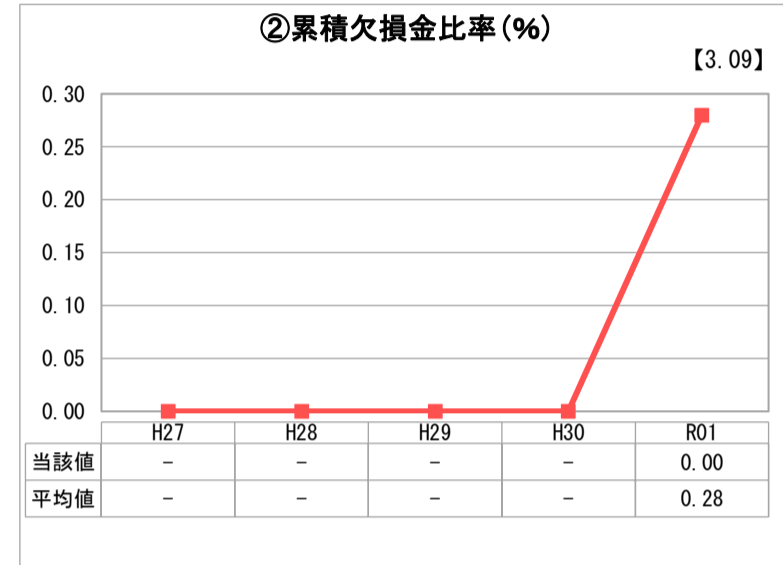
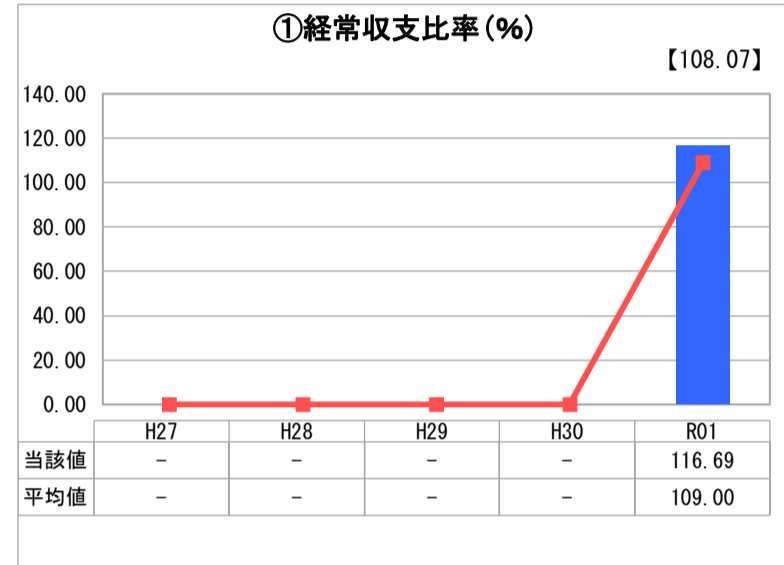
埼玉県 川口市

| 業務名       | 業種名         | 事業名    | 類似団体区分 | 管理者の情報                         |
|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------------|
| 法適用       | 下水道事業       | 公共下水道  | Aa     | 自治体職員                          |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円) |
| -         | 60.04       | 87.57  | 91.94  | 1,998                          |

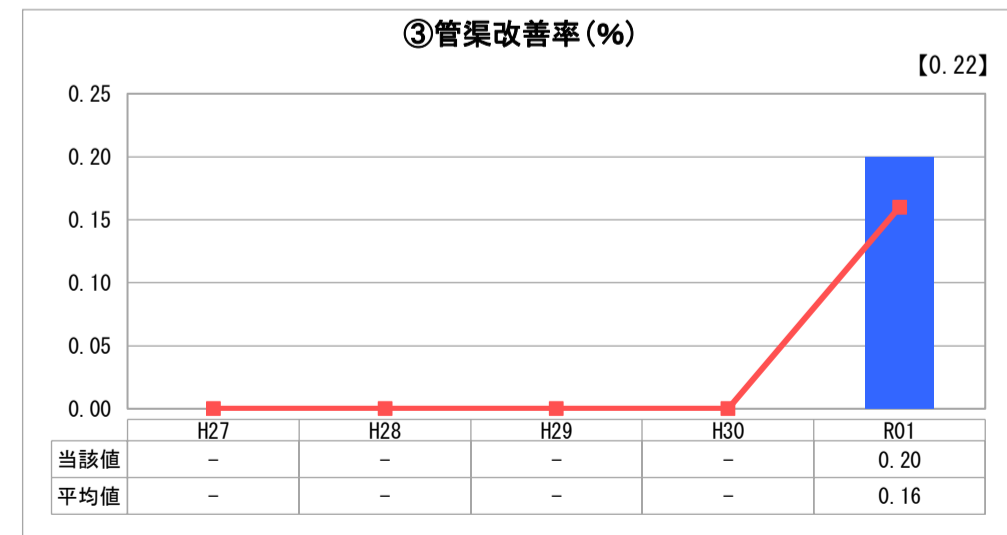
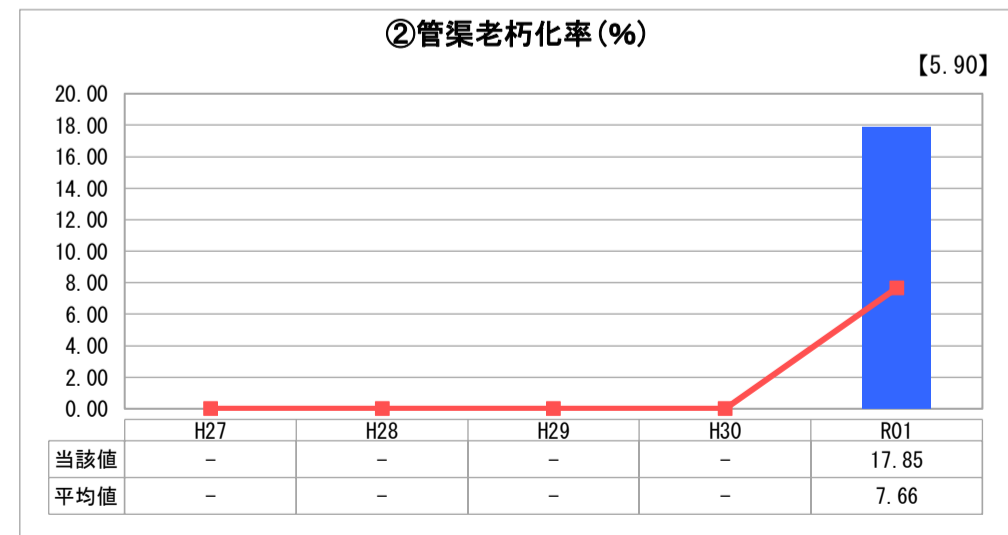
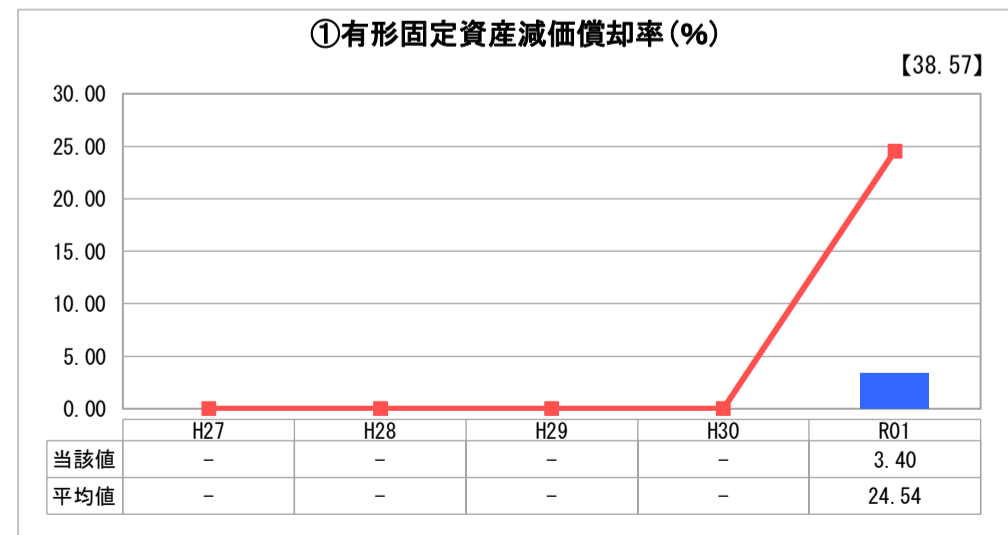
| 人口(人)      | 面積(km <sup>2</sup> )     | 人口密度(人/km <sup>2</sup> )      |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 607,105    | 61.95                    | 9,799.92                      |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km <sup>2</sup> ) | 処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> ) |
| 532,753    | 42.66                    | 12,488.35                     |

| グラフ凡例 |              |
|-------|--------------|
| ■     | 当該団体値(当該値)   |
| —     | 類似団体平均値(平均値) |
| 【     | 令和元年度全国平均    |

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は100%を上回っており、全国・類似団体より高い水準にあります。これは長期前受金戻入（経常収益に計上）が大きいためと考えられます。

② 流動比率は100%を下回っており、全国・類似団体より低い水準になっています。流動負債の約80%は企業債ですが、今後も建設改良のための投資は増加する見込みであり、厳しい状況が続くものと見込まれます。

③ 経常収支比率は類似団体より高い水準にあります。今後も合理的な投資による適正な債務残高の維持や、使用料収入の確保に努める必要があります。

④ 経費回収率は、平成28年、平成30年の2段階にわたる使用料改定により改善が図られたものの、未だ100%を下回っています。今後も、経営の効率化による経費削減に努めるとともに、水洗化率の向上等により使用料収入の確保に努める必要があります。

⑤ 汚水処理原価は、類似団体より高い水準にあります。老朽化した管渠等の更新費用は今後ますます増大が見込まれることから、ストックマネジメント手法を用いたライフサイクルコストの低減・最適化を図るとともに、維持管理についても効率的な施設管理及びコストの削減に取り組むことが必要です。

⑥ 水洗化率は、全国・類似団体より低い水準にあります。水洗化率の向上は、資産の有効活用や使用料収入確保に繋がることから、戸別訪問などによる継続促進に努めていきます。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、全国・類似団体を大きく下回る水準となっています。本市は令和元年度から企業会計に移行しましたが、それ以前に減価償却された資産については減価償却累計額に計上されていないことが要因です。

② 管渠老朽化率は、全国・類似団体を大きく上回る水準となっています。本市では、事業着手から約80年が経過していることから、管渠総延長約1,258kmのうち、法定耐用年数を超える管渠が約225kmあるためです。

③ 管渠改善率は類似団体の水準を上回っているものの、管渠老朽化率は高いため、老朽化した管渠の計画的な更新が急務となっています。

### 全体総括

単年度の収支は黒字であり、累積欠損金も発生していませんが、使用料改定後も汚水処理にかかる経費を使用料収入で賄えていない状況が続いています。

今後においても、経費回収率などを指標として適正な下水道使用料について適宜検討を行うとともに、併せて水洗化率の向上への取組等により、財政基盤の強化を図ります。

また、施設の更新等に当たっては、ストックマネジメント手法の導入・活用により、施設のライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図ります。

以上のような取組みに基づき、今後も安定的かつ継続的に下水道サービスを提供できるよう、事業運営に努めていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

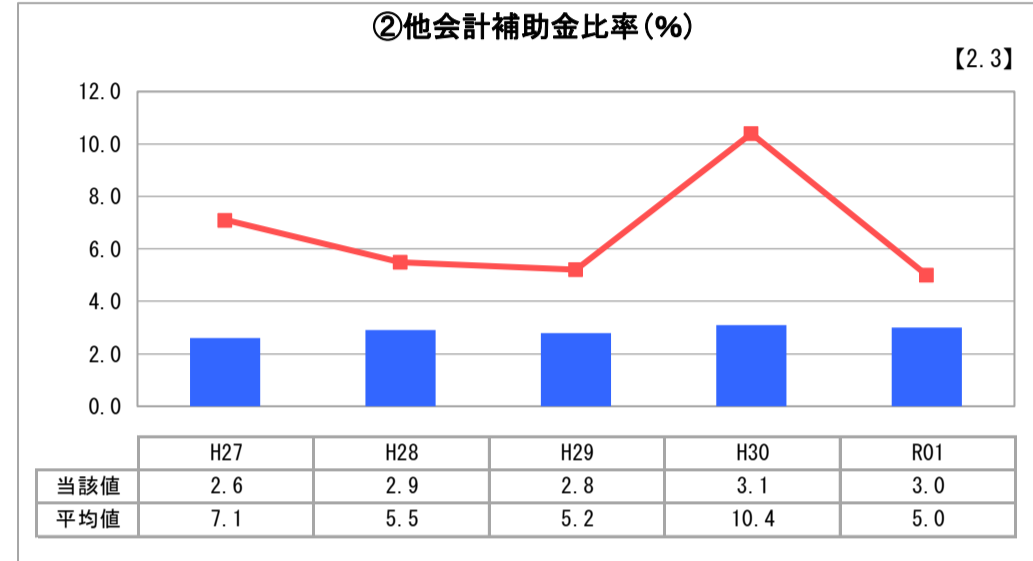
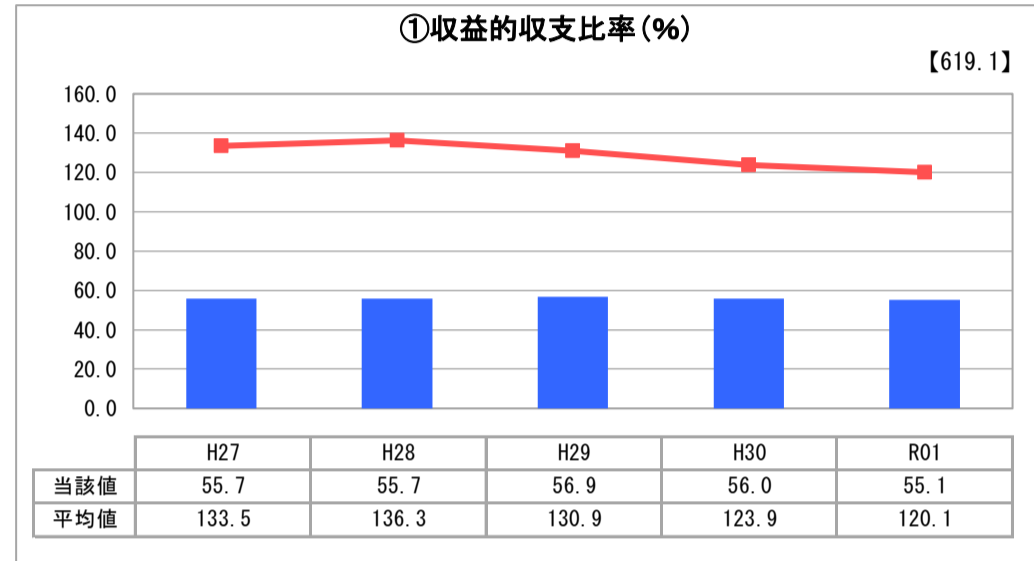
埼玉県川口市 川口駅南地下公共駐車場

|             |         |     |             |        |
|-------------|---------|-----|-------------|--------|
| 業務名         | 業種名     | 事業名 | 類似施設区分      | 管理者の情報 |
| 法非適用        | 駐車場整備事業 | -   | A 2 B 1     | 非設置    |
| 自己資本構成比率(%) | 種類      | 構造  | 建設後の経過年数(年) |        |
| 該当数値なし      | 都市計画駐車場 | 地下式 | 14          |        |

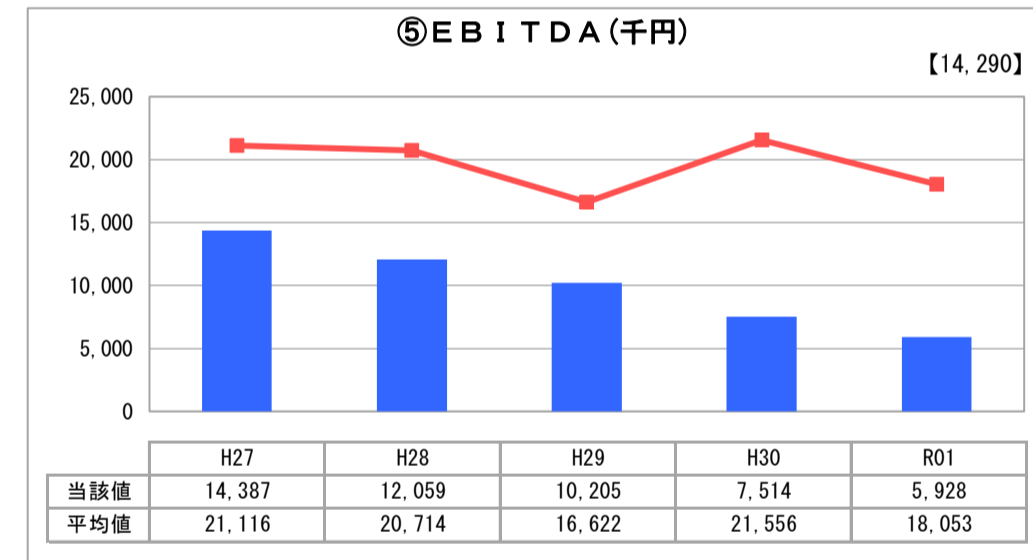
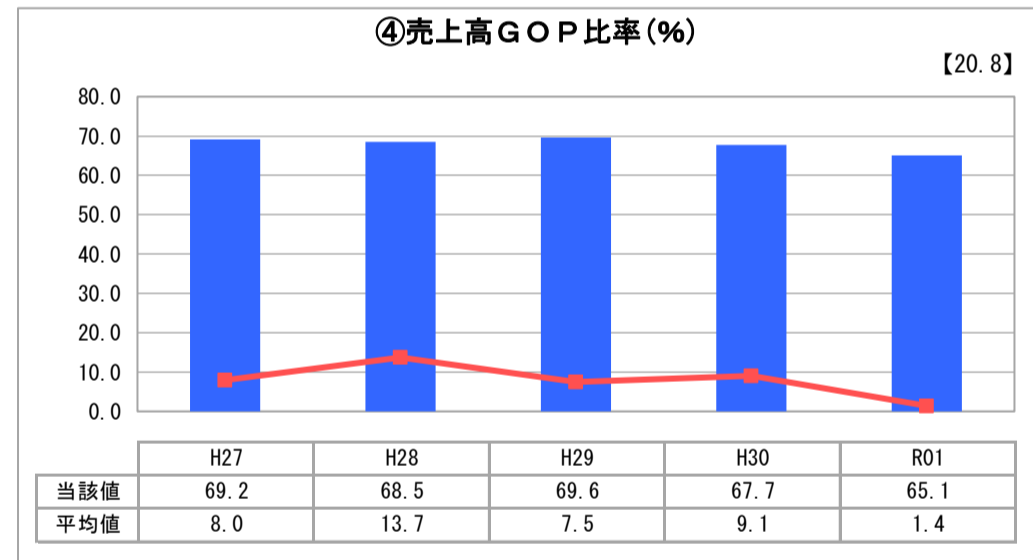
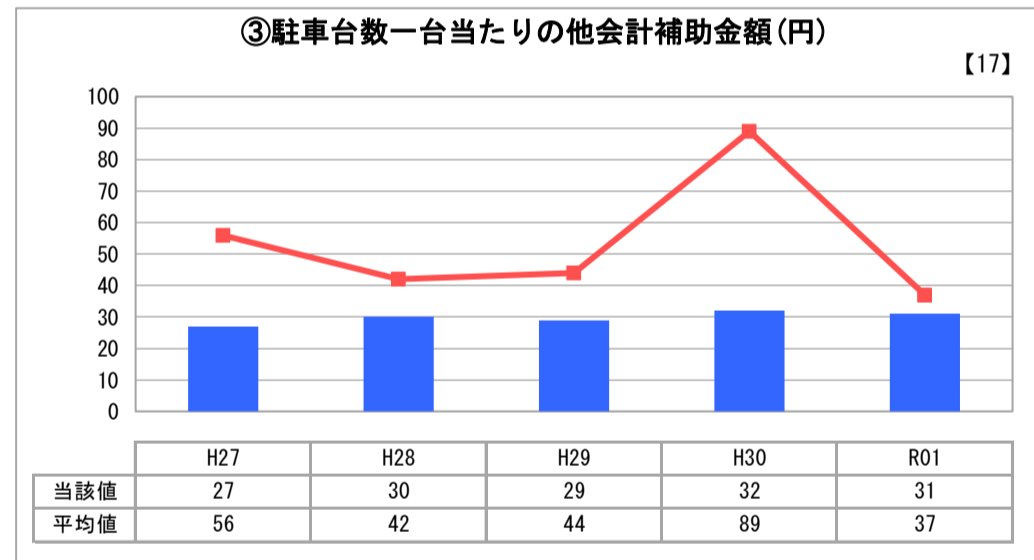
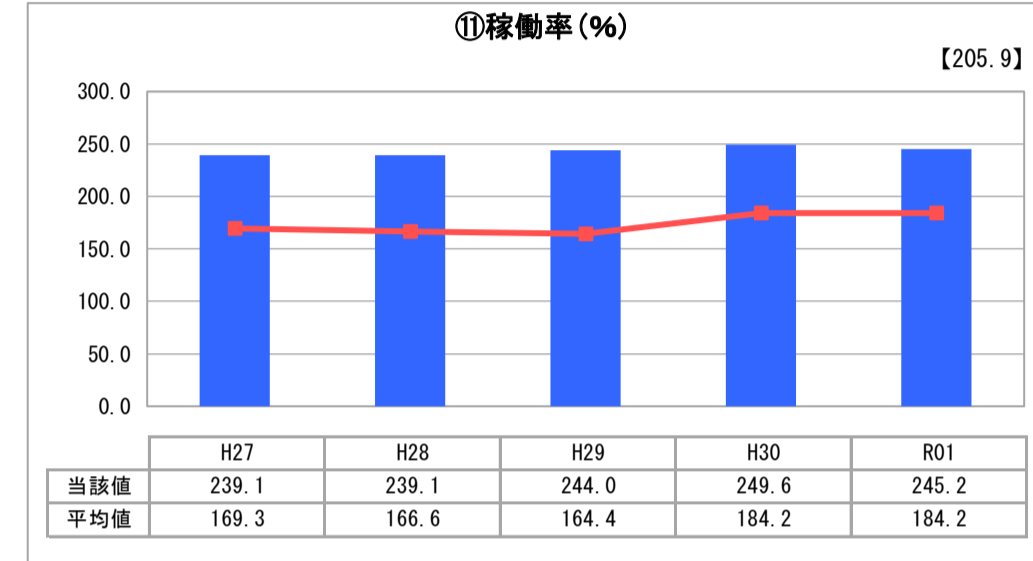
|         |                |                          |
|---------|----------------|--------------------------|
| 立地      | 周辺駐車場の需給実態調査   | 駐車場使用面積(m <sup>2</sup> ) |
| 駅       | 無              | 9,174                    |
| 収容台数(台) | 一時間当たりの基本料金(円) | 指定管理者制度の導入               |
| 248     | 400            | 導入なし                     |

|                |
|----------------|
| <b>グラフ凡例</b>   |
| ■ 当該施設値(当該値)   |
| — 類似施設平均値(平均値) |
| □ 令和元年度全国平均    |

## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況

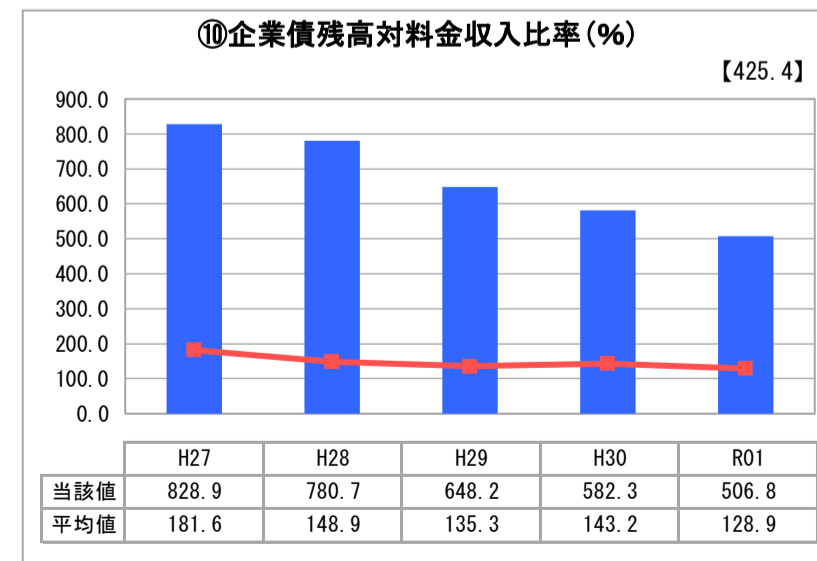


⑦敷地の地価(千円)

0

⑧設備投資見込額(千円)

0



## 分析欄

1. 収益等の状況について  
 ①収益的収支比率が100%を大きく下回っており、地方債の償還が完了する令和7年度以降は改善する見込みです。  
 ②他会計補助金比率、③駐車台数一台あたりの他会計補助金額については、類似施設平均を下回っており、他会計への依存度は低いと判断されます。  
 ④売上高GOP比率については、全国平均及び類似施設平均を大きく上回っており、施設の営業に関する収益性は高いと判断できます。  
 ⑤EBITDAについては、経年比較において減少傾向にありますが、地方債の償還が完了する令和7年度以降は改善する見込みです。

2. 資産等の状況について  
 ⑥有形固定資産減価償却率について、当施設は地方公営企業法非適用事業であるため、指標は算出されません。  
 ⑦敷地の地価については、当施設は再開発事業で整備された複合施設の地下にあり、保留床を取得して設置したものであるため、当施設単体の地価は算出されません。  
 ⑧設備投資見込額については、今後10年間は工事や大規模修繕の計画がないため、0円としております。  
 ⑨累積欠損金比率について、当施設は地方公営企業法非適用事業であるため、指標は算出されません。  
 ⑩企業債残高対料金収入比率については、全国平均及び類似施設平均を大きく上回っておりますが、経年比較では減少傾向にあり、令和7年度には償還が完了する見込みです。

3. 利用の状況について  
 ⑪稼働率について、当施設については全国平均及び類似施設平均を上回っており、駐車場施設としての需要は大きいと判断されます。

全体総括  
 当施設については、川口駅周辺の駐車場不足に起因する道路機能の低下を解消し、交通の円滑化と健全な都市機能の更新を目的として、平成18年度に設置されたものであります。  
 収益等の状況については、料金収入に対して地方債の償還金が非常に大きく、収益的収支比率においては赤字の状態が続いております。  
 しかしながら、稼働率は高い水準を保っており、駐車場施設としての需要は大きいと判断できます。  
 計画どおりに償還を進めており、令和7年度には償還が完了する予定であるため、それ以降は収益等の状況は改善し、健全な経営状況になると見込んでおります。

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

埼玉県川口市 川口西公園地下公共駐車場

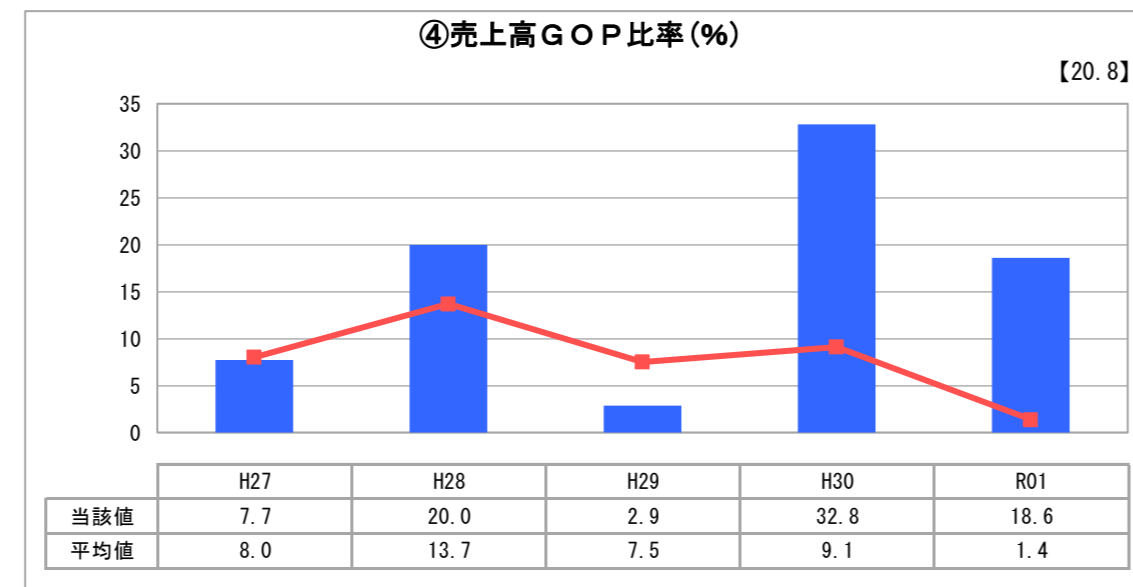
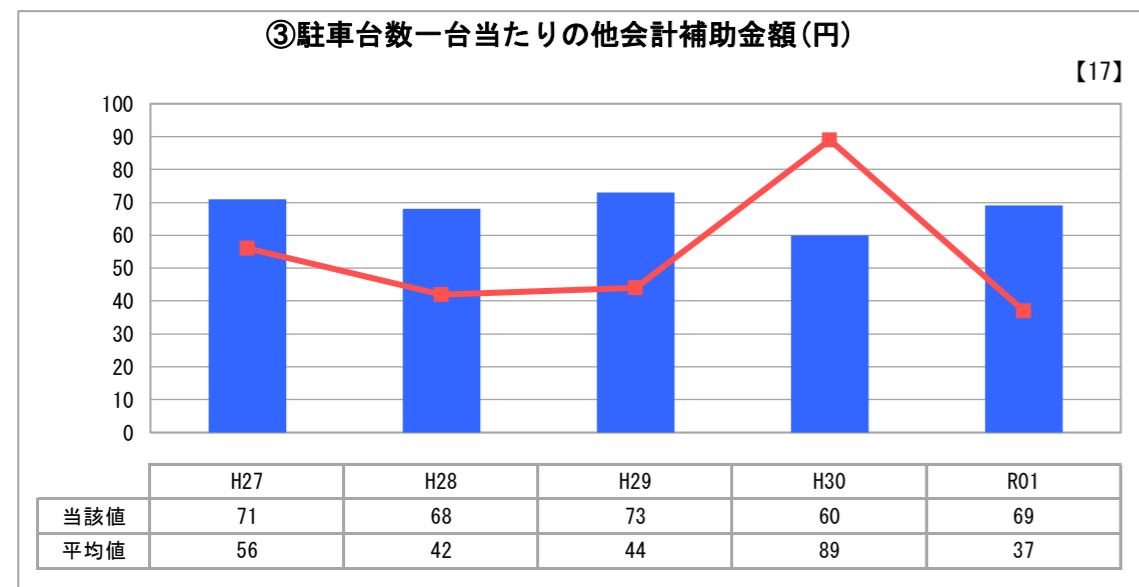
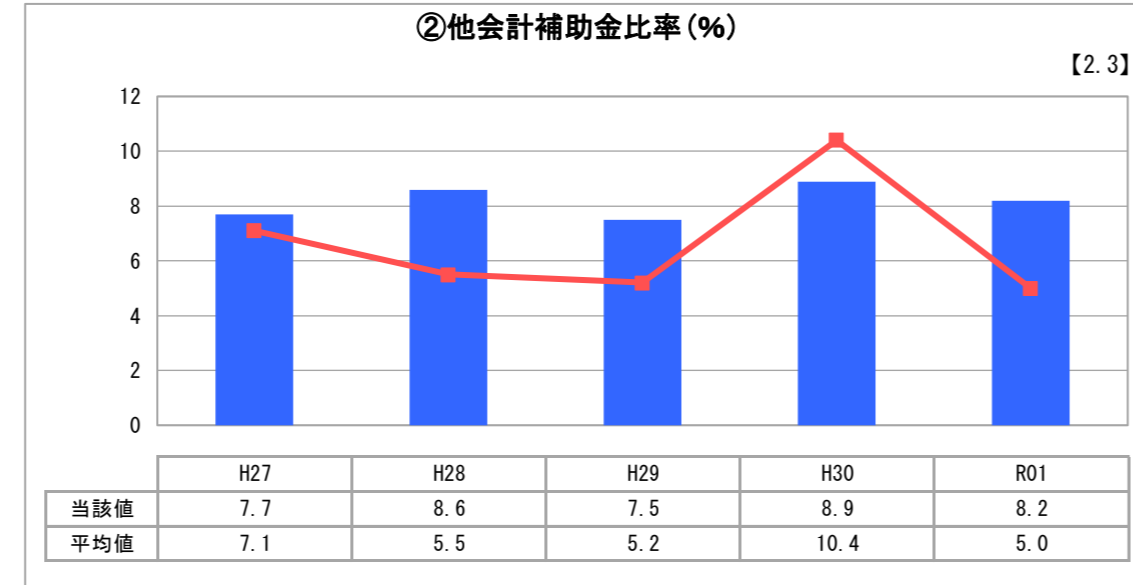
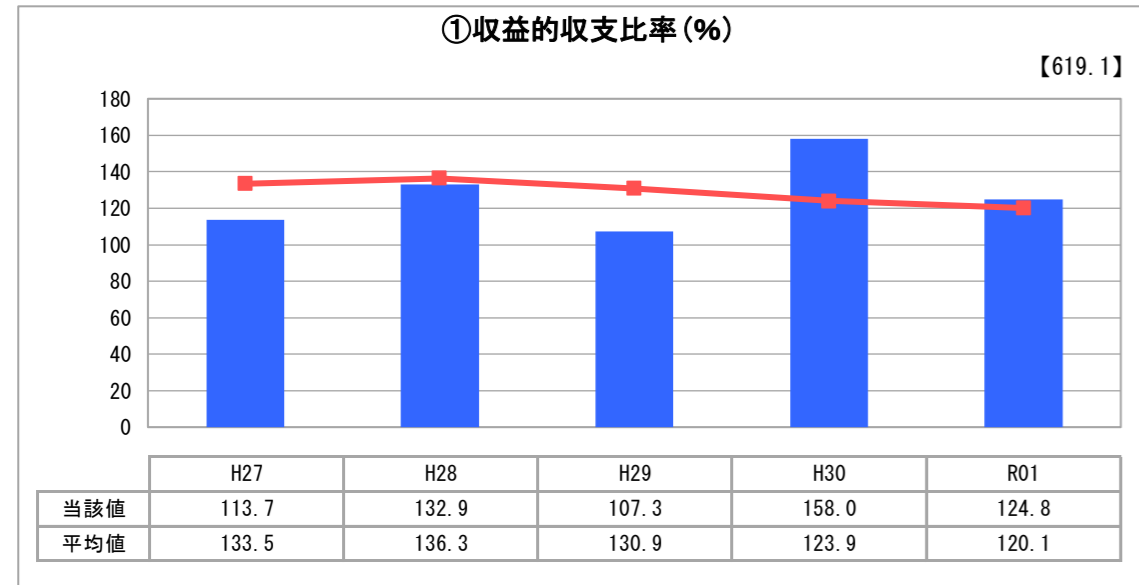
| 業務名         | 業種名     | 事業名 | 類似施設区分      | 管理者の情報 |
|-------------|---------|-----|-------------|--------|
| 法非適用        | 駐車場整備事業 | -   | A 2 B 1     | 非設置    |
| 自己資本構成比率(%) | 種類      | 構造  | 建設後の経過年数(年) |        |
| 該当数値なし      | 都市計画駐車場 | 地下式 | 29          |        |

| 立地      | 周辺駐車場の需給実態調査   | 駐車場使用面積(㎡) |
|---------|----------------|------------|
| 駅       | 無              | 6,636      |
| 収容台数(台) | 一時間当たりの基本料金(円) | 指定管理者制度の導入 |
| 164     | 400            | 導入なし       |

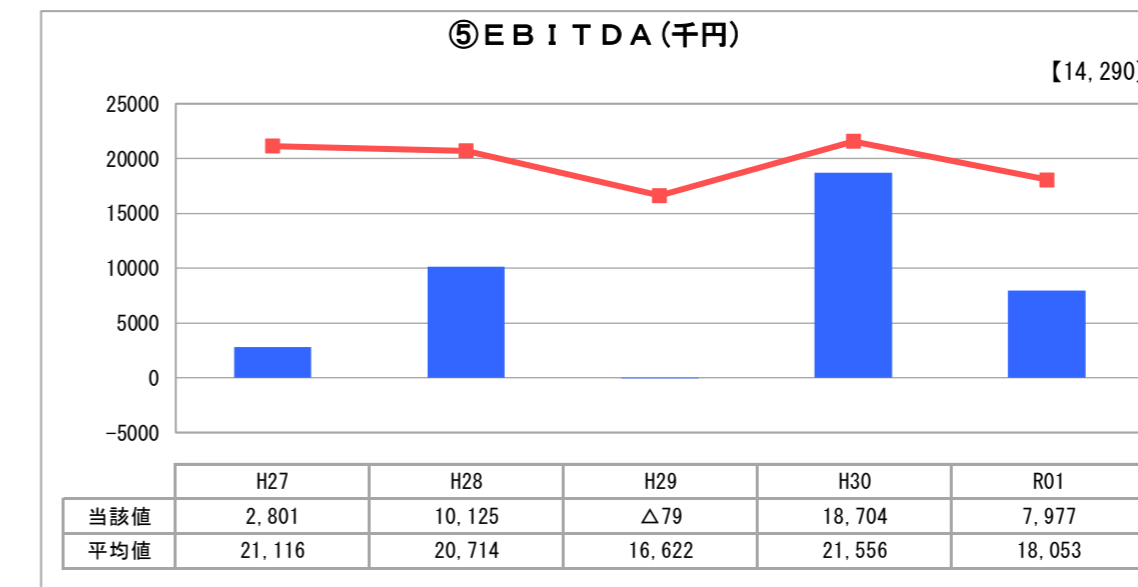
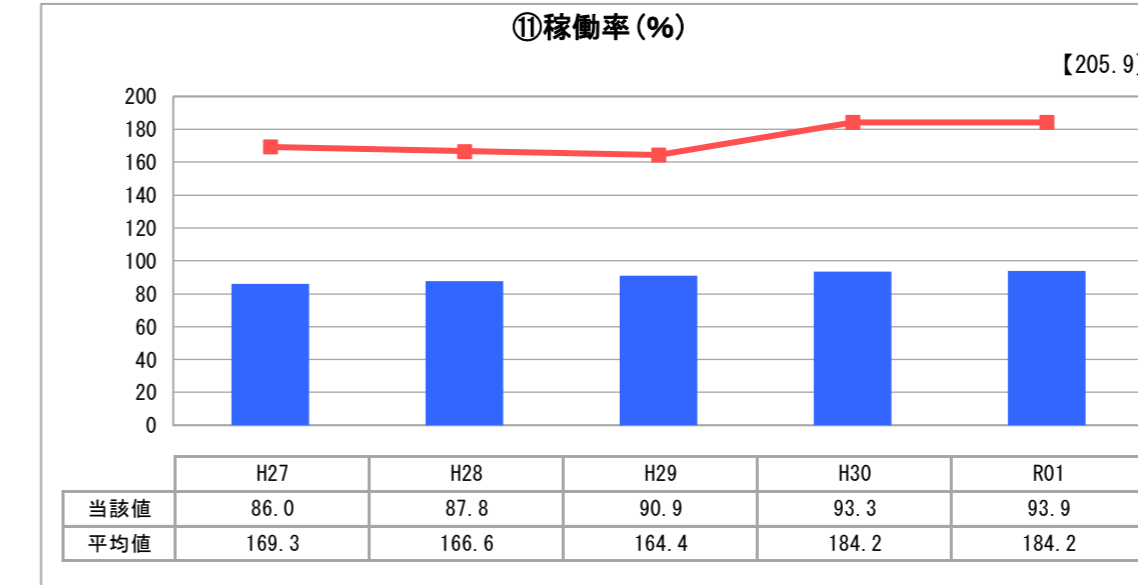
**グラフ凡例**

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

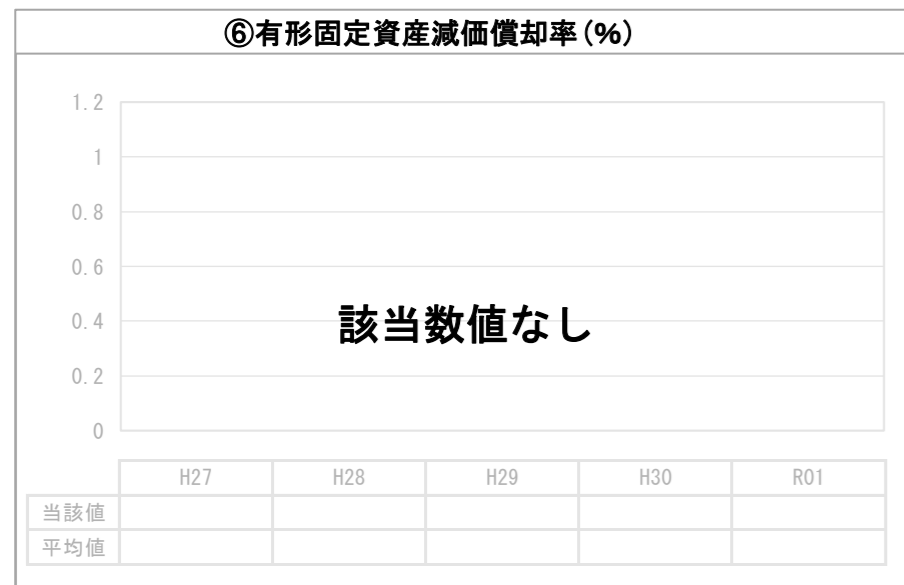
## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況

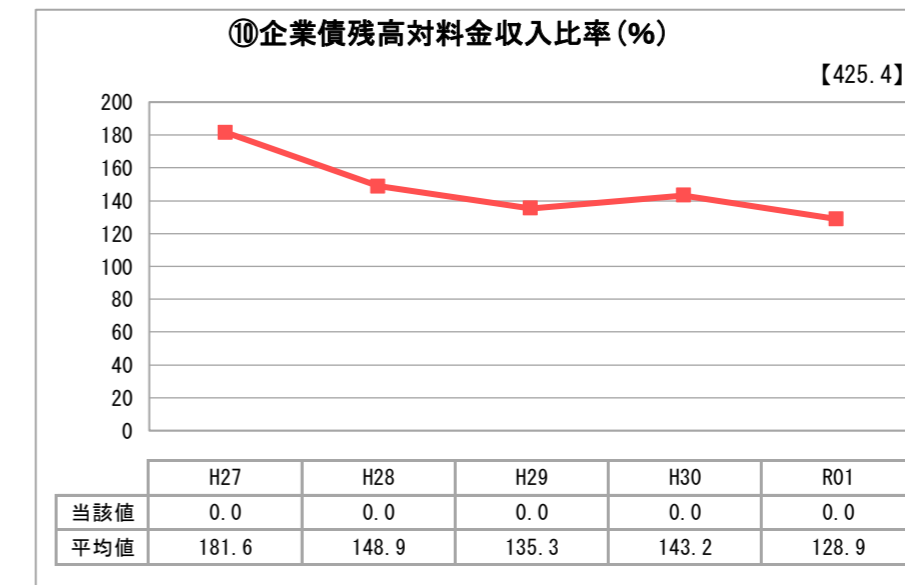


⑦敷地の地価(千円)

0

⑧設備投資見込額(千円)

252,371



## 分析欄

**1. 収益等の状況について**

①収益的収支比率については、総費用の増加により前年度より低下しましたが、100%を上回っており、健全性は確保されております。

②他会計補助金比率、③駐車台数一台当たりの他会計補助金額については、全国平均及び類似施設平均を上回っておりますが、他会計からの補助の内容は職員給与費と障害者の料金減免分であり、経営上大きく影響するものではないと考えております。

④売上高GOP比率については、営業費用の増加により前年度より低下しましたが、類似施設平均を大きく上回っており、収益性が確保できているものと考えます。

⑤EBITDAについては、総費用の増加により前年度より低下し、全国平均及び類似施設平均を下回っており、本業の収益性は低い水準であることから、経営改善に向けた取組が必要と考えられます。

**2. 資産等の状況について**

⑥有形固定資産減価償却率について、当施設は地方公営企業法非適用事業であるため、指標は算出されません。

⑦敷地の地価については、当施設は公園の地下にあるため、地価は公園の固定資産台帳に計上されており、当施設では算出されません。

⑧設備投資見込額については、設備のライフサイクルコストを基に作成した中長期修繕計画により今後10年間の投資見込額を算出しております。

⑨累積欠損金比率について、当施設は地方公営企業法非適用事業であるため、指標は算出されません。

⑩企業債残高対料金収入比率について、当施設は企業債残高がないため、指標は算出されません。

**3. 利用の状況について**

①稼働率について、当施設は全国平均及び類似施設平均を大きく下回っており、時間貸しの駐車場施設としての需要は大きいとはいえませんが、利用台数は増加傾向が続いております。

一方で、定期利用の需要は高く、マンション建設等により周辺人口の増加も見込まれ、今後も定期利用の需要は増加すると考えられます。

したがって、時間貸しと定期利用の需要や収益性のバランスを考慮し、定期利用の上限台数の見直し等により、効率的な運営を図ることが必要だと考えております。

**全体総括**

当施設については、川口駅周辺の駐車場不足に起因する道路機能の低下を解消し、交通の円滑化と健全な都市機能の更新を目的として、平成3年度に設置されたものであります。

収益等の状況については、設備改修等の有無により、経年劣化による設備更新等が増加する見込みであることから、中長期の修繕計画により収支を平準化することで、安定した経営を目指してまいります。

また、利用の状況としては、利用台数は増加傾向にあるものの、稼働率は低い状況が続いており、施設の効率性には問題があると考えられるため、さらなる利用促進を図ってまいります。